

にいがた

# 生涯学習ネットワーク

第8号  
2019.2.28

この情報紙では、県内各地の社会教育活動を紹介していきます。

編集・発行：新潟県生涯学習協会 調査・広報委員会  
＊「にいがた社会教育」から数えて448号になります。

〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107号  
TEL・FAX : 025-266-1120

E-mail : syakyo56@feel.ocn.ne.jp HP : <http://www.niigata-lla.com/>

## ～県内に広がる学習支援活動～

県内の各地で子どもたちの学習を支援する取組みが行われています。NPOなどの民間団体や行政等が実施し、その運営形態は実にさまざまです。学習支援の場では多くの地域の方たちや学生の皆さんがあどもたちと向き合い、その育ちを応援しています。また、経済的に困難な状況にある子どもたちやひとり親世帯の子どもたちへの学習支援活動も行われています。

あなたも子どもたちの学びを応援する活動を始めてみませんか。



五泉市

行政 × 地域 × 学校

五泉市では放課後子供教室として、のびのび学習教室『寺子屋』事業を実施しています。

市内全小学校9校で週3回、時間は放課後から午後6時まで、会場は校内の特別教室等を利用して実施。運営は学校側ではなく、学習支援スタッフ(教員OB他の地域の皆さん)です。

子どもの参加は申込み制、教材や傷害保険料、おやつ代などの実費負担があり、現在の参加児童は約330名です。

平成30年度は学習支援活動をより充実させようと、県補助事業を活用して五泉地区で「夏休み土日自由学習室」を開催しました。(対象は小学生から高校生、時間は10:00～17:00の間、出入り自由)支援スタッフには五泉市と連携協定を締結している大学の学生も加わりました。若い世代の存在は子どもたちに大好評です。

来年度は、村松地区にも会場を増やし、2カ所で実施する予定です。

問合せ:五泉市生涯学習課 TEL:0250-42-5195

### 学習支援ボランティア 「市民先生」登録受付中!

学習支援ボランティアを求める行政や団体等の問合せに対応しています。登録先は県生涯学習情報提供システム『ラ・ラ・ネット』の人材バンクです。

問合せ:県立生涯学習推進センター

〒950-8602新潟市中央区女池南3-1-2  
TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019  
E-mail : nipc@mail.lalanet.gr.jp [登録:<http://www.lalanet.gr.jp/>]



新発田市  
社会福祉課

高校生の支援

新発田市社会福祉課では平成28年度に高校生の中退防止を目的として高校生相談支援事業を開始しました。

高校生相談支援員を配置し、卒業後の進路の助言や奨学金などの利用支援を行うほか、通信制高校のレポート作成などの学習支援も実施しています。事業の開始により、高校との連携もやりやすくなり、切れ目のない継続的な支援ができるようになりました。

子どもたちが生まれた環境で将来を左右されることがないよう、これからも支援していきます。

問合せ:新発田市社会福祉課 TEL:0254-28-9221



新潟市東区

公民館 × 民間団体

新潟市中地区公民館と新潟県生涯学習協会が連携、協働して2年前から公民館を会場に開催している学習会です。

公民館管内の2校の小学生(4年～6年生)を対象に夏休みと冬休み時期に「子ども学習会」を開設しています。子どもたちと向き合う学習支援スタッフは県のラ・ラ・ネット生涯学習人材バンク“市民先生”に登録している協会会員等の皆さんです。明日もまた来なくなるような場所にしたいと子どもたちと関わっています。

子どもたちからは「わかるようにヒントをもらえた」、「家より集中できた」、「宿題が終わった」等の声が聞かれます。

問合せ:新潟市中地区公民館 TEL:025-250-2910

# 生涯学習聞き歩き

今回は新潟市生涯学習センター「クロスパルにいがた」を拠点に活動する「Lの会」にお邪魔しました。



映画鑑賞会



そば打ち体験

## 第5回 新潟市中央区

一人でできないことも、  
みんなでやればなんとかなる!  
<sup>える</sup>  
**「Lの会」**

Lの会は平成17年、クロスパルにいがたの開設に伴って結成された生涯学習ボランティア団体。Life(生涯)・Long(いつまでも)・Learning(学習する)の3つの「L」からLの会と名付けられ、行政とのパートナーシップのもと、クロスパルにいがたで学習する人たちへの支援や相互交流を通して生涯学習社会の実現を目指しています。目標は「皆で苦楽を共にする生涯学習活動」。一人でできないことも、みんなでやればなんとかなる、という方向性のもと、団塊世代の市民が学び、交流できる体験広場や、子どもたちをはぐくむ体験広場づくりなどに取り組んでいます。

会員は現在25人。講座研修部会、広報部会、子ども部会、施設部会の4部会を設け、多彩な活動を積み上げています。中でも「そば打ち体験」は11年を数え、毎回定員を大きく超える申し込みがあります。安い料金設定に加え、Lの会の会員が指導することから、会の温かい空気も魅力なのか、何度も受講する人もいるとのこと。申し込んでも受講できない人の救済や、初めての人を優先させるような受付など課題も見えています。また、施設の映像ホールで開催する映画鑑賞会多くの市民が参加します。最近の上映は「おくりびと」。外国の映画祭で受賞するなど話題になった作品もあり、満席でした。当初、映画鑑賞会は子ども向けの作品を選定していましたが、数年前から高齢者向けの作品に変えて年3回実施しています。作品選定の苦労に加え、トラブルのない運営や音響、室内照明など、目に見えない苦心も。まさに、「みんなでやればなんとかなる」Lの会の事業です。会ではこのほかに大人の工作練習会、子ども夏休みものづくり体験、館内掲示の張り替え作業、「Lの会だより」の発行などを行い、新年度は新規事業の研修会にも取り組む予定です。

会の発足の契機がクロスパルにいがたの開館ということもあり、生涯学習センターとLの会は車の両輪として生涯学習社会の実現を目指すとしていますが、その為の担当職員との定期意見交換会も100回を越え“協働”的な一つの形を整えつつあります。行政からの支援は、事業実施の際の会場確保と使用料免除、「Lの会だより」の紙の支給と印刷機の利用、ボランティアスタッフルームの利用などで、金銭的な支援はありません。映写会で上映する作品も、図書館やライブラリーで借りるなど、無料で上映できるものを選んでいます。

会の魅力について、会員の皆さんには日々に「自分の居場所」と言います。一人ではできることでもみんなでやればできる喜び、会員一人一人の持ち味を生かした出番での新しい経験や支え合い、思いやりが新たなネットワークを生み出しています。

会の運営に関する課題について岩間正吉会長は「自主性をもってボランティア活動を続けるには、それなりの原資は必要です。会員も高齢化しているから、新しい人からどんどん入ってもらいたいですね」と話します。2019年には結成15年を迎えるLの会、新しいことに取り組もうと、「変革の年」と位置付けます。出会い、ふれあい、学び合いの居場所「Lの会」は皆様のお越しをお待ちしています。



大人の工作練習会



子ども夏休みものづくり体験

みえる・つながる・  
つくりだす

# 地域活動★キラリ★

## 2020年こそ世界遺産に! ~『佐渡を世界遺産にする新潟の会』活動紹介~

新潟の会はこれまで県内各地で講演会など広報・啓発活動に精力的に取り組んできました。「佐渡を世界遺産に」の声は全国へ広がり、活動の成果は間違いなく上がっています。昨年は残念な結果でしたが、文化遺産としての高い価値が文化庁から認められ、登録へいま一歩のところへ来ています。子どもサミットのように新しい力も育っています。皆さんも活動に加わりませんか。

| 佐渡を世界遺産にする新潟の会

〒950-8546新潟市中央区万代3-1-1メディアシップ内 TEL 025-248-3013 E-mail: sado-sekaiisan@nnj-net.co.jp

### 「田んぼアート」で世界遺産

新潟市西蒲区の大曾根地区では毎年「田んぼアート」に取り組んでいます。水田をキャンバスに見立て、文字や図柄を田んぼに描きます。2018年のテーマは「こんどこそ佐渡!!」。佐渡の地図、空飛ぶトキの姿などを水田に植え付け、秋には立派に実を結んでアートは見事に完成。9月末には稻刈り、はざ架け。当日の直会も大いに盛り上りました。



### 遺跡周辺で草刈り

秋晴れの10月、相川北沢選鉱場シックナー周辺で景観保全活動が行われました。佐渡金銀山遺跡の中で最も重要な施設です。日頃から遺跡保全に励む近隣の皆さん、ボランティア、市の職員や私たち会員も草刈りや清掃作業に爽やかな汗を流しました。

作業終了後は2018年4月にオープンした“無妙異坑”を見学。ヘルメットにヘッドランプという完全武装で行く本格的な「探検コース」です。スゴ~イ! 皆さま是非とも見学においてください。

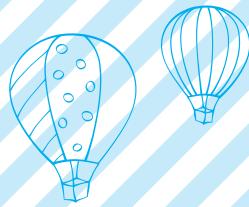


### 「子どもサミット」いざ出航

11月10日、新潟日報メディアシップ20階で「佐渡金銀山を世界遺産に! 子どもサミット」が開かれました。新潟市から上山小、長岡市は下川西小、上越市は三郷小、そして佐渡市から相川小と真野小、各6年生の皆さん12人が佐渡修学旅行の体験や研究活動の成果を発表し、佐渡金銀山を取り巻く状況や登録に向けた課題など真剣で建設的な議論を展開しました。佐渡から子供鬼太鼓も駆けつけて熱演を披露し、最後に「佐渡金銀山の魅力を日本に世界に、もっともっと伝えていこう」という力強い『子どもサミット宣言』が読み上げされました。



# 活躍する学生ボランティア



## 新潟国際情報大学 『災害ボランティア団体 nuiis\_project』

2012年、東日本大震災を機に「私たちも何かできることはないか」と当時の在学生有志が立ち上げました。活動開始から8年、大学の認定を受けたクラブ団体としての活動は7年が経過しましたが、現在も東北被災地のボランティアセンターと連携し活動を続けています。

主な活動はボランティアセンターの依頼で被災地農家の農作業支援と実際に被災地を訪れる活動です。他に新潟大学と新潟県立大学のボランティアサークルと交流しています。このネットワークの中で合宿や定期的な会合を行い、情報交換、課題の共有も図っています。現在の部員数は約50名です。

今後は大学での学び（語学力や情報システムなどの知識）を災害支援に生かし、活動の幅を広げていく予定です。

### ～東日本大震災の被災地訪問記～

被災地である福島への訪問は私たち一人一人にとって貴重な体験の機会になっている。

入部前はボランティアなんて大変そうで自分の活動の選択肢にはなかったという部員が、「復興、復旧が進んでいない現状」、「現地に立って知る大震災の現実」、「大きな被害を被った筈なのに前向きな現地の皆さん姿」などを実感し、「被災された方の気持ちに思いをはせる」、「自分の無力感をつきつけられたと同時に何ができるのかを考えている」と語るようになった。

あの東日本大震災から8年。私たちは記憶を風化させない役割も担いたい。



## 新潟青陵大学 『ぼらくと』

「いまどきの若者は、コミュニケーション能力や社会性が不足している。」などの声が聞かれますが、コツコツと地域や社会でボランティア活動に取組むその姿は周囲から高い評価を受けています。学生のボランティア活動は自身の人間力を磨く機会にもなり、加えて視野を広げられる社会参画の場でもあります。

新潟青陵大学・新潟青陵短期大学は看護や福祉、児童教育を学ぶ学校であるため、実習が伴い、ボランティアに取り組み易い環境にあります。その活動実績は、青少年教育施設、地域行事、福祉施設、高大連携事業、児童養護施設、青年赤十字活動等々広範囲に及びます。構内には「ボランティアセンター」を設置。専従職員も配置し、



学生のボランティア活動への情報提供、支援や相談に対応しています。平成25年度からは学生ボランティアコーディネーター制度“Volunteer Act 通称ぼらくと”を設けました。ぼらくとメンバー総数は約30名。活動の充実を図るためにコーディネーター役、外部とのつなぎ役等を担い、センターの運営にも関わっています。

“ぼらくと”は今年度、支え合い活動に長年取り組んだ団体や個人を表彰する北越銀行賞（学生ボランティア部門）を受賞しました。メンバーの皆さんには、これからもボランティア活動を通して多くを学び、成長していきたいと話します。

# 法と文の道を生きた人「平出修」

ひらいで しゅう  
平出修 研究会 塩浦 彰

しおうら あきら

えん  
「冤罪」という無実の罪に問われる人々は、昔から今に至るまで跡を絶たない。

明治末期、天皇暗殺という「大逆罪」に関わる冤罪事件が起きた。時の国家権力が、活発化する社会主义や平和主義運動の弾圧を図り、事件を全国的に拡大化して、無関係な人々まで次々に逮捕する。そして一人の証人喚問すら行なわず、「大審院」一審限りでの裁判で、無実か無実に限りなく近かった被告の内、十二名が死刑、その他の被告たちも無期・有期の懲役刑となった。

この事件の弁護人の一人として、平出修は思想言論の自由と、事件の事実誤認を理路整然と論じて、多くの被告たちを感銘させた。



晩年の平出修と署名  
(大正2年11月撮影36歳)

新潟県中蒲原郡石山村（現・新潟市東区）に庄屋の八男として生まれた修は、生家の財産を頼り得ず、抜群の学力知力を武器として自力で人生を切り開いて行く。長兄が、修の生活安定のために勧めた「質屋の養子」という分限を、上級学校への進学という約束が守られなかつたゆえに、修は自分の意思で断ち切る。そして、自立のため小学校教員を目指して資格を獲得する。

こうした都会の質屋や農村の小学校それぞれの生活体験から、修は社会の底辺で生きる庶民農民の実態や思いを、肌身に感じ得た。

さらに修は、高田（現・上越市）在住の弁護人平出善吉の妹婿となり、義兄善吉の援助で明治法律学校（現・明治大学）に入學し、卒業後「判検事登用試験」に合格する。だが、修は東京地裁の検事局に任用されたにもかかわらず、一ヶ月にも満たず辞任し、弁護人一筋の道を歩んでいく。

修は、前述の「大逆事件」以外にも、言論出版の自由に関わる弁護活動をしているが、そうした法律家としての生と並行して、与謝野鉄幹・晶子とともに「明星派」と称された明治浪漫主義文学運動にも、深く関わった。法律と文学 - 相反するような二筋の道が、修には矛盾なく存在した。なぜなら、法の下での平等と言語表現の自由という人間の絶対的価値が、両者の生を歩んだ修には、一体の価値として身についていたからである。

## 新潟日報事業社 出版情報

### 『評伝 平出修 而立篇』

塩浦 彰 著

言論の自由と平和を奪われること  
その非情さを知らない世代へ  
いま、伝えたい人物

定価1,500円（税込）

1910年に起きた「大逆事件」の弁護人として知られる平出修。「法律と文学」二筋の路を歩んだ、新潟出身の弁護士・文学者、その29歳までの前半生をたどる1冊。与謝野鉄幹・晶子や石川啄木、森鷗外との交流、また、思想・言論弾圧にあらがい人権問題に取り組む直前までの成長期を描く。



# ひと・人・ひと



新潟市東区 遠藤 清さん

新潟市東区の石山地区公民館の子育てサロン(子育て中の親子の居場所)で子育て支援ボランティア活動をしています。親子への言葉かけは“いつも肯定的に”を心掛けているそうです。今日も子育てサロンにはとびっきりの笑顔の遠藤さんが待っています。

イベント時にはお得意のケーナやサンポーニャの楽器演奏で楽しい時間も提供しています。

## ねうとわーく

### 阿賀町「生涯学習インストラクターの会」

行政主導ではなく民間から作りあげた会です。先ず、組織作りに多くのエネルギーを要しました。

2年前は地域の文化、歴史を伝え残す活動を、当地と古くからつながりが深い福島県白河市の方々と合同で行いました。

今年の5月には、地域の皆さんに生涯学習活動の楽しさをお伝えする講演会を新潟県生涯学習協会と共に開催します。

人口一万人の弱の町でも出来る事はあります!

## 掲示板

4月

### 「新潟県少年自然の家」 Newオープン!

胎内市にある“少年自然の家”の敷地内に新施設が建設されます。活動できる部屋等が増え、より充実した施設で活動できます。新しい“少年自然の家”を是非ご利用ください。

○宿泊可能人数:約200人→約300人

○野外炊さん利用人数:約240人→約300人

○大研修室(収容200人程度):新設

○中研修室(収容150人程度):新設

○多目的ホール(325m<sup>2</sup>):新設

○星空テラス:新設

#### 利用できる団体

園児から社会人まで、もちろんお年寄りの方もご利用になれます。自然体験活動の他、うどん作り、米粉ピザ作り、お餅つき、創作活動、レクリエーション、勉強合宿、スポーツ合宿等さまざまな活動ができます。団体の目的に応じてご利用ください。

#### 申込み

受付は随時行っています。お問合せください。

☆☆新潟県少年自然の家☆☆

〒959-2602胎内市乙字大日裏(中条駅より8km)

TEL:0254(46)2224 FAX:0254(46)3070

#### 調査・広報委員長のつぶやき

#### 「一片の悔いもなし」

横綱・稀勢の里が引退してしまいました。

インタビューには「悔いはありません」と応えていましたが、怪我の後遺症で苦しんだ末の決断ですから本当はもっとやりたかったのではと思います。

あの怪我は「左腕がどこかに飛んで行った」(本人談)ほどの大怪我。休場を繰り返しても完治せず。「六割の力しか出せなかつた」と引退後に明かしました。

こんな状態でも相撲を取り続けたのは横綱としての使命感と生真面目な性格からだと言われました。負けても決して怪我を言い訳にせず、周囲から取り口を変えるように指摘されても一途に突進を繰り返しました。立ち合いで変化することは一度もなく、正面から受けて立つ相撲でした。日本人横綱としての人気もさることながらこの清い取り口が人気だったと思います。

まだ、32歳。結婚もこれから。大好物の「のっべい汁」を作れる新潟美人が女将さんになって「荒磯部屋」親方になる日が来れば最高だと夢見ています。(田原)

## 贊助会員

~私たちは、新潟県生涯学習協会を応援しています~

For Earth, For Life  
いのちをつなぐ

株式会社 新潟クボタ

菊水

[www.kikusui-sake.com](http://www.kikusui-sake.com)



豊かな調和の取れた社会を作る  
グリーン産業株式会社

JCV

上越ケーブルビジョン 株式会社

一正蒲鉾株式会社



株式会社 池田看板

創ります。人と自然と文明の共生。



株式会社 本間組



共立印刷株式会社



株式会社 本間組

越後製菓株式会社



株式会社

遠藤製作所

Minatoku 株式会社 皆徳

本社／新潟県新潟市豊栄町4-5-33 TEL 0254-22-5159㈹ FAX 0254-22-5159



麒麟山酒造



旬彩柳葉亭



新潟国際情報大学

Niigata University of International and Information Studies